

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94703	市内遺跡発掘調査費		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354
種別							
予算	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費	分野	4	文化	
	項	4	文化財費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	
	目	7	社会教育費	施策	1	文化財など保存・継承	
実施計画事業	市内遺跡発掘調査事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民	受益者数	93,312人
目的	どのような状態にしたいのか(意図)	埋蔵文化財を保護し次代に伝える		
概要	事業の実施手法(手段)	開発事業により影響を受ける埋蔵文化財を記録保存する。		
前回の評価からの改善・改革のポイント	開発事業時の指導について、公平性を重視しながら指導の強化を図っている。			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	埋蔵文化財対応件数	件	目標値	10	10	15	15
			実績値	12	17	15	-
	算出根拠等 埋蔵文化財発掘の届出、通知数		達成率(%)	120	170	100	-
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
②			目標値				
			実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)				-
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
①	現地調査・指導件数	件	目標値	3	3	3	3
			実績値	3	2	3	-
	算出根拠等 試掘調査件数		達成率(%)	100	67	100	-
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
②			目標値				
			実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)				-
	コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
歳出(千円)(A)		2,000	5,000	4,800	5,004		
受益者負担(使用料・負担金等)							
その他特定財源(国・県支出金・起債等)		1,000	2,500	2,400	2,500		
一般財源		1,000	2,500	2,400	2,504		
コスト指標	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	受益者一人当たり(A/B)	21	53	51	54	
		受益者 一般市民(B)	94,235	93,821	93,312	93,312	
	②						
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	総合計画に位置づけられており、遺跡の保存、活用などのために重要性が高い。
	C(0) 結びつかない			
	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある		
C(0) 少ない、減少している				
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	B	埋蔵文化財は国民共有の財産であり、市民やそれ以外にもおよぶ。
	C(0) わずかな受益者に限定される			
	A(2) 十分に達成している(100%以上)	B(1) 概ね達成している(75%以上)		
C(0) あまり順調でない(75%未満)				
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	B	埋蔵文化財を開発等から守るため文化財保護法の周知を行っており、それに基づいて試掘調査などを行っている。発掘成果は報告書により市民に還元されている。
	C(0) 見直しが必要である			
	⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている		
C(0) 対応していない				
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫		A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B
	C(0) 対応していない			
	⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である	
C(0) 改善が必要である				
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か		A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B
	C(0) 改善が必要である			
	合計	12.0 / 20.0	100点換算	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	埋蔵文化財に対する周知を行い、開発事業などに対し試掘調査や、個人住宅の場合は発掘調査を行う。				

総合評価 (二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	4,800	5,004	204	4,000	4,000
財源内訳					
国庫支出金	2,400	2,500	100	2,000	2,000
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	2,400	2,504	104	2,000	2,000

予算要求の概要	開発事業に伴う試掘確認及び範囲確認調査経費 松倉城跡、高山城跡地形測量等委託料
要求額増減理由	機械器具借上料等の増
事業実施の課題	松倉城跡、高山城跡は県の調査でも高い評価を受けており、国の指導を受けながら地形測量等を継続的に行う必要がある。

財務部査定 の考え方	・積算内容を精査
---------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94710	郷土資料・図書購入事業		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2355
種別							
予算	会計	1	一般	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費	分野	4	文化	
	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	
	目	7	文化財費	施策	1	文化財などの保存・継承	
実施計画事業	歴史資料購入事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	郷土に関わる歴史資料の流失、散逸を防ぐとともに、市民の郷土学習に役立てる。		
概要	事業の実施手法(手段)	郷土に関わる歴史資料を購入する。		
前回の評価からの改善・改革のポイント	購入した資料の展示活用を行う。			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
① 資料購入件数	件	目標値	14	20	15	15	
		実績値	18	55	15	-	
		達成率(%)	129	275	100	-	
算出根拠等							
成果指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
② 公開件数	件	目標値	14	20	15	15	
		実績値	4	10	15	-	
		達成率(%)	29	50	100	-	
算出根拠等							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24		
		決算額	決算額	予算額	実施計画額		
歳出(千円)(A)		12,920	13,149	12,000	12,000		
受益者負担(使用料・負担金等)							
その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
一般財源		12,920	13,149	12,000	12,000		
コスト指標	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画		
		(A/B)					
①	受益者	全市民	(B)	96,231	93,212	93,312	93,212
②							
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	B	市民の郷土学習に役立てる。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	B	郷土の歴史遺産を大切に、地域に愛着を深めるというニーズは強い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	広報等での紹介、収蔵品展等を行い、広く市民に公開、周知している。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	郷土に関する貴重な資料の公有化が進められている。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	随時資料の情報収集を行っている。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	飛騨高山まちの博物館等で展示・活用している。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	一般に資料の金額は定価であるが、金額の交渉が可能なものについては対応している。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	資料は高額であるが、市場価格などとの比較を行うなどの取り組みを行っており、適正なコストであると思われる。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	事業目的達成のために適切なコストであり、成果が認められる。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		12.0 / 20.0	100点換算 → 60 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	継続的に貴重な歴史資料の購入を進める。 収蔵品展など市民への公開を継続的にすすめる。				

総合評価 (二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	平成22年度事業評価において、より多くの方々に貴重な資料を見ていただけるような資料の活用方法を検討する必要があるとの指摘を行っており、引き続きまちの博物館での展示も含め取り組んでいく必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	12,000	12,000	0	7,000	7,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	12,000	12,000	0	7,000	7,000

予算要求の概要	郷土にゆかりのある人物の資料購入費 飛騨の文人・画人の作品購入費 伝統工芸品、民俗資料の購入費
要求額増減理由	
事業実施の課題	高山の歴史文化の振興のため、歴史的資源の散逸を防ぎ、市民に活用していただく必要がある。

財務部査定 の考え方	・飛騨高山まちの博物館オープンに伴い事業費を縮減する
---------------	----------------------------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94730	文化財保護事業補助金		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356
種別							
予算	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費	分野	4	文化	
	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	
	目	7	文化財費	施策	1	文化財などの保存・継承	
実施計画事業	文化財保護事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	一般市民、文化財保存団体	受益者数	93,312人
目的	地域で文化財を保存活用する活動を支援し、文化財の保存を図る		
概要	文化財保護団体に対する補助。史跡や伝承芸能の保存にあたっては、団体の運営・活動経費にあてるため必要な補助を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント	特になし		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
① 補助件数	件	目標値	55	55	55	55
		実績値	55	55	55	-
		達成率(%)	100	100	100	-
算出根拠等						
成果指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
②	千円	目標値				
		実績値				-
		達成率(%)				-
算出根拠等						
コスト面	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
① 補助金額	千円	目標値	6,707	6,205	6,069	6,000
		実績値	6,574	6,205	6,069	-
		達成率(%)	98	100	100	-
算出根拠等						
コスト面	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
①	千円	目標値	70	66	65	64
		実績値	94,235	93,821	93,312	93,300
		達成率(%)				
算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画にも位置づけられており、文化財保護や継承においても重要である。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	文化財保存団体における活動を対象としているため、団体からの要望は強い。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	伝統文化の保存・継承の上で、概ね市民全体に事業効果が及ぶ。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	計画通りに実施し、目標値も達している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	伝承芸能の継承や史跡の整備など、活動団体の積極的な文化財保護活動が行われ、多くの活動団体に利用されている。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	新規保存団体に対する補助への対応を検討していく必要がある。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	コストの抑制が直接住民サービスの向上につながる事業ではないが、国などの補助金などを活用するなどし、負担を減らしていく。また、さらに団体が積極的に取り組めるよう支援したい。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	文化財の継承につながるものであり、概ね適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	活動団体の積極的な活動と事業の利用により、高い補助執行率を維持している。各団体の文化財に対する意識の向上と活発な取り組みであり、適正な事業である。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計	16.0 / 20.0		100点換算	80 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	活動団体の積極的な文化財保護活動を支援するために、実施する。活動団体の発表の場の提供を検討する。				
総合評価 (二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・制度の有効性を高めるよう内容等を見直す必要がある。				
議会からの 提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出 (千円)	6,069	6,260	191	6,011	6,011
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	6,069	6,260	191	6,011	6,011

予算要求の概要	文化財保護団体に対する助成
要求額増減理由	文化財保護団体構成員の増などによる補助金の増
事業実施の課題	史跡や屋台、町並み景観等の保存には、実際に保存にあっている団体の活動が重要であり、団体の後継者不足や運営への対応が必要。

財務部査定 の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94733	国指定文化財保存修理事業		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354
種別							
予算	会計	1	一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	社会教育費	分野	4 文化		
	項	4	一般会計	基本施策	1 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える		
	目	7	社会教育費	施策	1 文化財など保存・継承		
実施計画事業	指定文化財保存修理事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民	受益者数	93,312 人
目的	どのような状態にしたいのか(意図)	国指定文化財を保護し次代に伝える		
概要	事業の実施手法(手段)	国指定文化財について助成を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
①	修理数	件	目標値	2		2
			実績値	2		-
算出根拠等 修理件数			達成率(%)	100		-
成果指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
②			目標値			
			実績値			-
算出根拠等			達成率(%)			-
成果指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
①	修理件数÷修理希望件数	%	目標値	100		20
			実績値	100		-
算出根拠等 修理件数÷修理希望件数			達成率(%)	100		-
コスト面	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
①	受益者一人当たり	(A/B)	目標値			11
			実績値			93,300
算出根拠等			達成率(%)			-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)		(A)			1,000
	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
財源内訳	一般財源					
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画
①	受益者一人当たり		(A/B)			11
	受益者 一般市民		(B)			93,300
②						
算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく		A	地域の大切な財産である国指定文化財の建造物などの保存活用に結びつくものである。
	B(1) 一部結びつく			
	C(0) 結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している		A	国指定文化財の修理、特に建造物については多くの修理希望があり、市民のニーズは非常に多く急増している。
	B(1) ある程度のニーズがある			
	C(0) 少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ		A	国指定文化財は市民のみならず、国民共有の財産であり、保存は市民のみならず、国内におよぶ。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ			
	C(0) わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)		A	現在のところ、計画通りに事業推進している
	B(1) 概ね達成している (75%以上)			
	C(0) あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である		B	修理の方法など効果的なルールを作成する必要がある。
	B(1) 概ね有効である			
	C(0) 見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている		B	優先順位のつけ方など、修理を行う際のルールを作成する必要がある。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0) 対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている		B	効率的な修理を行うよう、指導を行っている。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0) 対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である		B	公開協定を締結した文化財については、協定に基づき公開が行われている。
	B(1) 概ね適正である			
	C(0) 改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である		B	コストに見合った修理結果となっている。
	B(2) 概ね適正である			
	C(0) 改善が必要である			
合計	14.0 / 20.0			100点換算 → 70 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	保全のため必要な国指定文化財について、緊急性の高いものから計画的に助成を行う。				

総合評価 (二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)		2,625	2,625	2,000	2,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源		2,625	2,625	2,000	2,000

予算要求の概要	国指定文化財の修理に対する助成
要求額増減理由	平成23年度は対象がなかったため。
事業実施の課題	事業実施を国、県などと歩調を合わせて行っていく必要がある。

財務部査定 の考え方	・国及び県の補助が見込めるものについて予算化 ・国及び県の補助が未確定なものは、補正予算での対応を検討する
---------------	--

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94735	県指定文化財保存修理事業		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354
予算	会計	1	一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	社会教育費	分野	4 文化		
	項	4	一般会計	基本施策	1 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える		
	目	7	社会教育費	施策	1 文化財など保存・継承		
実施計画事業	指定文化財保存修理事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	県指定文化財を保護し次代に伝える		
概要	事業の実施手法(手段)	県指定文化財について助成を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	修理数	件	目標値	2	1		3
			実績値	2	1		-
	算出根拠等	修理件数	達成率(%)	100	100		-
成果指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
②			目標値				
			実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	修理件数÷修理希望件数	%	目標値	2	1		3
			実績値	2	1		-
	算出根拠等	修理件数÷修理希望件数	達成率(%)	100	100		-
コスト面	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)	(A)	1,257	618		1,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		838	412			
	一般財源		419	206			
コスト指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	受益者一人当たり	(A/B)	13	7		11	
	受益者	一般市民 (B)	94,235	94,235		93,300	
②							
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく		A	地域の大切な財産である県指定文化財の建造物などの保存活用に結びつくものである。
	B(1) 一部結びつく			
	C(0) 結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している		A	県指定文化財の修理、特に建造物については多くの修理希望があり、市民のニーズは非常に多く急増している。
	B(1) ある程度のニーズがある			
	C(0) 少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ		A	県指定文化財は市民のみならず、国民共有の財産であり、保存は市民のみならず、国内におよぶ。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ			
	C(0) わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)		A	現在のところ、計画通りに事業推進している
	B(1) 概ね達成している (75%以上)			
	C(0) あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である		B	修理の方法など効果的なルールを作成する必要がある。
	B(1) 概ね有効である			
	C(0) 見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている		B	優先順位のつけ方など、修理を行う際のルールを作成する必要がある。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0) 対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている		B	効率的な修理を行うよう、指導を行っている。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0) 対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である		B	公開協定を締結した文化財については、協定に基づき公開が行われている。
	B(1) 概ね適正である			
	C(0) 改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である		B	コストに見合った修理結果となっている。
	B(2) 概ね適正である			
	C(0) 改善が必要である			
合計	14.0 / 20.0		100点換算	70 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	保全のために必要な県指定文化財について、緊急性の高いものから計画的に助成を行う。				
総合評価 (二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
議会からの 提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)		412	412	0	0
国庫支出金					
県支出金		275	275	0	0
起債					
その他					
一般財源		137	137	0	0

予算要求の概要	県指定文化財の修理に対する助成
要求額増減理由	平成23年度は対象がなかったため。
事業実施の課題	事業実施を県と歩調を合わせて行っていく必要がある。

財務部査定 の考え方	・県補助が未確定のため、補正予算での対応を検討する
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94740	市指定文化財保存修理事業		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354
種別							
予算	会計	1	一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	社会教育費	分野	4 文化		
	項	4	一般会計	基本施策	1 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える		
	目	7	社会教育費	施策	1 文化財など保存・継承		
実施計画事業	指定文化財保存修理事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	市指定文化財を保護し次代に伝える		
概要	事業の実施手法(手段)	修理希望のあった市指定文化財について助成を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	修理数	件	目標値	2		2	
			実績値	2		2	
	算出根拠等	修理件数	達成率(%)	100		100	
②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
			目標値				
			実績値				
①	修理件数÷修理希望件数	%	目標値	100	0	20	20
			実績値	100		20	-
	算出根拠等	修理件数÷修理希望件数	達成率(%)	100		100	-
②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)	(A)	5,378		11,600	10,604	
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		5,378		11,600	10,604	
コスト面	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者一人当たり	(A/B)	57		124	114	
	② 受益者	一般市民 (B)	94,235		93,312	93,312	
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	地域の大切な財産である市指定文化財の建造物などの保存活用に結びつくものである。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	市指定文化財の修理、特に建造物については多くの修理希望があり、市民のニーズは非常に多く急増している。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	市指定文化財は市民のみならず、国民共有の財産であり、保存は市民のみならず、国内におよぶ。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	現在のところ、計画通りに事業推進している
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	修理の方法など効果的なルールを作成する必要がある。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	優先順位のつけ方など、修理を行う際のルールを作成する必要がある。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	効率的な修理を行うよう、指導を行っている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	公開協定を締結した文化財については、協定に基づき公開が行われている。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	コストに見合った修理結果となっている。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計	14.0 / 20.0		100点換算	70 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善						拡大		縮小		廃止の検討		完了	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
修理希望のあった市指定文化財について、緊急性の高いものから計画的に助成を行う。														
総合評価(二次評価)	<ul style="list-style-type: none"> 各文化財の状態を正確に把握し、中長期的な計画を作成する必要がある。 優先順位の設定について検討する必要がある。 													
議会からの 提言等														

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	11,600	10,604	△996	10,000	10,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	11,600	10,604	△996	10,000	10,000

予算要求の概要	市指定文化財の保存修理助成
要求額増減理由	修理対象文化財の減
事業実施の課題	修理希望が多数あり、文化財審議会の意見を踏まえ、緊急性を考慮し、順次修理を行う必要がある。

財務部査定 の考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94745	文化財関係事務費		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356
種別							
予算	会計	1	一般	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費	分野	4	文化	
	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	
	目	7	文化財費	施策	1	文化財などの保存・継承	
実施計画事業							
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	文化財保護行政円滑な執行		
概要	事業の実施手法(手段)	文化財関係の協議会等への参加、負担金支出		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
成果面	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
成果指標	算出根拠等			達成率(%)			-
②	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
成果面	算出根拠等			達成率(%)			-
①	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
成果指標	算出根拠等			達成率(%)			-
②	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
成果面	算出根拠等			達成率(%)			-

コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H21	H22	H23	H24
	決算額	決算額	決算額	予算額	実施計画額	
財源内訳	歳出(千円)	(A)	0	0	0	0
	受益者負担(使用料・負担金等)					
コスト指標	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源					
①	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画
	(A/B)					
②	受益者	全市民	(B)			
	算出根拠等					

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	評価対象外	
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	評価対象外	
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	評価対象外	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	評価対象外	
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外	
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	評価対象外	
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		0.0 / 0.0	100点換算	### / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善						拡大	縮小	廃止の検討	完了
	-コスト削減及び事務の効率化に取組む必要がある。									
総合評価(二次評価)	-コスト削減及び事務の効率化に取組む必要がある。									
議会からの提言等										

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	1,147	3,782	2,635	1,127	1,127
国庫支出金					
県支出金	86	86	0	50	50
起債					
その他					
一般財源	1,061	3,782	2,721	1,077	1,077

予算要求の概要	国・県関係団体との連携のための経費 文化財審議会、伝建審議会の運営費用
要求額増減理由	審議会委員の増
事業実施の課題	文化財の保存・活用を図るため、審議会の活用や国等の連携を図る必要がある。

財務部査定 の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94750	文化財啓発事業		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2355
種別							
予算	会計	1	一般	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費	分野	4 文化		
	項	4	社会教育費	基本施策	1 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える		
	目	7	文化財費	施策	2 親しみ理解する機会の充実		
実施計画事業	文化財標柱整備事業						
市長の約束	9伝統文化を守り、次代へ継承します 国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明看板等の整備や、人と人とのつながりを大切にする語り部の育成に取り組みます						

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どのような状態にしたいのか(意図) 文化財を良好に維持し、文化的価値を幅広く広めることで文化財に対する意識を高める。		
概要	事業の実施手法(手段) 文化財の活用・啓発のため、指定文化財等の位置、内容等を記載した説明看板、石柱等を作製設置する。 外国語の案内看板等を整備する。		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
① 設置数	箇所	目標値	45	39	45	45
		実績値	53	43	45	-
		達成率(%)	118	110	100	-
算出根拠等						
②	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
① 公開数	箇所	目標値	45	39	45	45
		実績値	53	43	45	-
		達成率(%)	118	110	100	-
算出根拠等						
②	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
① 公開数	箇所	目標値	45	39	45	45
		実績値	53	43	45	-
		達成率(%)	118	110	100	-
算出根拠等						
コスト面	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
① 受益者	全市民	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
		歳出(千円)(A)	7,201	4,959	6,100	6,500
		受益者負担(使用料・負担金等)				
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
		一般財源	7,201	4,959	6,100	6,500
コスト指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
①	(A/B)	76	53	65	70	
			76	53	65	70
②	(B)	94,235	93,821	93,312	93,300	
			94,235	93,821	93,312	93,300
算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	文化財の啓発により高山市の歴史文化の保存・活用に寄与することができる
	C(0) 結びつかない			
	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある		
B(1) ある程度のニーズがある	C(0) 少ない、減少している			
C(0) 少ない、減少している				
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	B	説明看板や石柱などを整備し、市民への幅広い情報提供ができるため。
	C(0) わずかな受益者に限定される			
	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
B(1) 概ね達成している (75%以上)	C(0) あまり順調でない (75%未満)			
C(0) あまり順調でない (75%未満)				
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	B	計画的に設置を行っている。
	C(0) 見直しが必要である			
	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	C(0) 対応していない			
C(0) 対応していない				
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	支所別に設置しているものを一括契約することで一本当たりの単価を抑えている。
	C(0) 対応していない			
	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である		
B(1) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である			
C(0) 改善が必要である				
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である	B	事業目的達成のために適切なコストであり、成果が認められる。
	C(0) 改善が必要である			
	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である		
B(2) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である			
C(0) 改善が必要である				
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である	B	適正なコストであると思われる。
B(1) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である			
C(0) 改善が必要である				
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B	事業目的達成のために適切なコストであり、成果が認められる。
	B(2) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である		
	C(0) 改善が必要である			
合計	13.0 / 20.0		100点換算	65 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善						拡大		縮小		廃止の検討		完了	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計画的に指定文化財等の説明看板や石柱等を設置を行う。														
総合評価(二次評価)	維持・改善						拡大		縮小		廃止の検討		完了	
	(担当課評価に同じ)													
議会からの提言等														

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	1,000	3,000	2,000	840	840
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	1,000	3,000	2,000	840	840

予算要求の概要	指定文化財等の説明看板、石柱等の整備費
要求額増減理由	文化財の案内、説明用地図等の作成にかかる委託料の増
事業実施の課題	市民への文化財啓発、観光客等への文化財情報提供等に役立てる必要がある。

財務部査定 の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94753	世界文化遺産登録推進事業			担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356	
種別									
予算	会計	1	一般	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして			
	款	9	教育費	分野	4	文化			
	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える			
	目	7	文化財費	施策	1	文化財などの保存・継承			
実施計画事業	世界文化遺産登録推進・歴史ボランティア育成支援事業								
市長の約束	9伝統文化を守り、次代へ継承します 国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明看板等の整備や、人と人とのつながりを大切に語る語り部の育成に取り組みます								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	高山の町並等の世界遺産への登録 高山祭の屋台行事のユネスコ無形文化遺産への登録 歴史ボランティアの育成		
概要	事業の実施手法(手段)	世界文化遺産登録に向けての啓発活動等 ユネスコ無形文化遺産の啓発活動等 ボランティア講座の開設		
前回の評価からの改善・改革のポイント	提案地区内で各種会合の際に、啓発活動を積極的に実施した			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
① 啓発件数		回	目標値	100	100	100	100
			実績値	105	105	100	-
算出根拠等			達成率(%)	105	105	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
② ボランティア講座の開設			目標値	-	8	8	8
			実績値	-	8	8	-
算出根拠等			達成率(%)	-	100	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
① 世界(有形・無形)文化遺産の登録件数		件	目標値	2	2	2	2
			実績値	0	0	1	-
算出根拠等			達成率(%)		50	-	
② 講座受講者数		人	目標値	-	150	150	150
			実績値	-	160	150	-
算出根拠等			達成率(%)	-	107	100	-
財務内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)		218	277	900	1,000	
コスト面	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源		218	277	900	1,000	
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
①	受益者	全市民 (B)	2	3	10	11	
			94,235	93,821	93,312	93,300	
②	算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	世界遺産を啓発することにより、高山市の歴史文化の保存・継承に寄与することができる歴史ボランティアガイドの育成
	C(0) 結びつかない			
	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある		
C(0) 少ない、減少している				
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	B	世界遺産を啓発することにより、高山市の歴史文化の保存・継承に寄与することができる。観光分野や文化財保護のことからも必要で市民要望が高まっている。
	C(0) わずかな受益者に限定される			
	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
C(0) あまり順調でない (75%未満)				
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	B	世界遺産については啓発以外の新しい手法は考えにくい。ボランティア講座の開設は有効である。
	C(0) 見直しが必要である			
	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
C(0) 対応していない				
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	より多くの機会を通じての啓発を行った。より多くの地域でのボランティア講座の開設を行った。
	C(0) 対応していない			
	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
C(0) 対応していない				
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である	B	掛かる費用に対し、世界文化遺産の登録における波及効果は数値での測定は不能。講座の開設は図書館とのタイアップで行い、経費の削減につながった。
	C(0) 改善が必要である			
	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である		
C(0) 改善が必要である				
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B	様々な機会で開催・講座の開設を行っており、コストはかさまない。
	C(0) 改善が必要である			
	合計			

4 今後の方向性(Action1)

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価) 世界文化遺産登録に向けて、啓発活動等。無形文化遺産の登録が見込まれることから、登録記念事業などを通じて、高山祭の継承への啓発を図るとともに、関係課と連携し、観光PRなどに活用を図るボランティアの育成に向け、講座の開設を行う。				

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価) (担当課評価に同じ)				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	900	1,752	852	500	500
国庫支出金	600	0	△ 600		
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	300	1,752	1,452	500	500

予算要求の概要	世界文化遺産登録に向けての啓発活動費用 ユネスコ無形文化遺産の再審査に向けての啓発費用 ボランティア講座の開設費用
要求額増減理由	世界文化遺産登録に向けての啓発用報償費、費用弁償、印刷製本費の増等
事業実施の課題	地域の文化資源の保存活用のため、市民への啓発や自ら保存活用に取り組む人材を育成する必要がある。

財務部 査定 の考え方	・積算内容を精査
----------------	----------

市長 査定 の考え方	・財務部査定のとおり
---------------	------------

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94754	歴史的風致維持再生事業		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356
種別							
予算	会計	1	一般	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費	分野	4	文化	
	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	
	目	7	文化財費	施策	1	文化財などの保存・継承	
実施計画事業	歴史的建造物群耐震化等対策事業・城下町歴史的風致維持向上事業						
市長の約束	9伝統文化を守り、次代へ継承します 高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値ある有形無形の伝統文化や文化財などの資源を保存活用するために、美しいふるさと認証制度を創設します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312人
目的	どのような状態にしたいのか(意図) 郷土の有形無形の伝統文化を次代に伝える体制を整える		
概要	事業の実施手法(手段) 祭礼復興事業として、地域の祭りなどを昔ながらの衣装などに整備する。また、ふるさと伝承記録として、伝承芸能等を記録として残す。		
前回の評価からの改善・改革のポイント	伝承芸能を記録するだけでなく、そのDVDを貸し出し、広く活用できるように工夫した		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
① 祭礼衣装の整備件数	目標値	回	1	1	1	1
	実績値		1	1	1	-
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100
成果指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
② 伝承芸能記録作成回数	目標値	回	1	1	1	1
	実績値		1	1	1	-
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100
活動指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
① 祭礼の数	目標値	%	1	1	1	1
	実績値		1	1	1	-
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100
成果指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
② 記録した伝承芸能の数	目標値	%	1	1	1	1
	実績値		1	1	1	-
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)	5,499	5,966	8,000	15,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)	5,499	1,666	6,000	15,000	
	一般財源	0	4,300	2,000	0	
コスト指標	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画	
	(A/B)	58	64	86	161	
	① 受益者 全市民 (B)	94,235	93,821	93,312	93,300	
算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	高山市の歴史文化の保存・継承に寄与することができる
	C(0) 結びつかない			
	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある		
C(0) 少ない、減少している				
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	B	高山市の歴史文化の保存・継承に寄与することが市民の意識高揚とともに、後継者育成に波及効果がある。
	C(0) わずかな受益者に限定される			
	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
C(0) あまり順調でない (75%未満)				
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	B	伝承芸能等を保存・継承することが、郷土に対する深い理解につながる。
	C(0) 見直しが必要である			
	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
C(0) 対応していない				
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	DVDが幅広く使用できるようにすることで、波及効果に対する作成コストを下げた。
	C(0) 対応していない			
	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である		
C(0) 改善が必要である				
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B	投入コストに見合った成果が上がっている。
	C(0) 改善が必要である			
	合計			

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	祭礼復興事業として、地域の祭りなどを昔ながらの衣装などに整備する。 また、ふるさと伝承記録として、伝承芸能等を記録として残すとともに、保存活動での活用PRを図る。				
総合評価 (二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				
議会からの 提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	8,000	8,254	254	1,000	1,000
国庫支出金	6,000		△ 6,000		
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	2,000	8,254	6,254	1,000	1,000

予算要求の概要	子ども伝承芸能の活性化にかかる費用 美しいふるさと認証制度の制度設計のための調査機関への委託費 伝承芸能等の記録委託費
要求額増減理由	伝承芸能発表機会の創設、啓発のための委託料の増等
事業実施の課題	後継者の減少する中、地域の文化継承や支援の方策などを検討する必要がある。

財務部査定 の考え方	・精算内容を精査 ・美しいふるさと認証制度の調査委託は基本的な方針が未定のため見送り
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94755	伝統的建造物群保存地区 保存事業		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354
種別							
予算	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費	分野	4	文化	
	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	
	目	7	文化財費	施策	1	文化財などの保存・継承	
実施計画事業		歴史的町並保存事業					
市長の約束		9 伝統文化を守り、次代へ継承します 国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明看板等の整備や、人と人とのつながりを大切に語る語り部の育成に取り組みます					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民・観光客	受益者数	4,136,231人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	伝建地区内における伝建物の保存整備及び非伝建物の景観復元し、伝統的な景観を維持する		
概要	事業の実施手法(手段)	伝建地区内における伝建物の修理及び非伝建物の修景事業に対する補助等。		
前回の評価からの改善・改革のポイント	保存計画に基づき、地区内の修理修景事業を継続して実施していく。			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	修理修景件数	件	目標値	10	10	10	10
			実績値	14	14	11	-
	算出根拠等	達成率(%)		140	140	110	-
②	景観維持向上件数	件	目標値	10	10	10	10
			実績値	14	14	11	-
	算出根拠等	達成率(%)		140	140	110	-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)	(A)	50,600	50,500	40,000	40,000	
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		26,250	25,000	20,000	20,000	
一般財源		24,350	25,500	20,000	20,000		
コスト指標	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 市民・観光客	(A/B)	12	12	10	10	
	② 受益者	(B)	4,136,231	4,136,231	4,136,231	4,136,231	
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	総合計画にも位置づけられ、高山のまちづくりの根幹をなすものである。
	C(0) 結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある	B	伝建地区内は古い建物が多く、常に修理の希望がある。
	C(0) 少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	A	古い町並は高山の文化形成及び観光の中心をなすものであり、伝建地区の整備が観光地としての高山をささえ、ひいては市民全体に及んでいる。
	C(0) わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B(1) 概ね達成している (75%以上)	A	目標の件数は達成している。
	C(0) あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	A	保存計画、防犯計画、様々な伝建地区の調査報告などを元に、保存修理、修景を行っている。
	C(0) 見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	修景手法など文化庁や岐阜県の指導を受けながら改善につとめている。
	C(0) 対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	一軒あたりの修理費が適正であるかのチェックを行っている。
	C(0) 対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である	B	効率的な修理、修景ができるよう設計書のチェックなどを念入りに行っている。
	C(0) 改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	A	最小の人員で最大の効果をあげるようつとめている。
	C(0) 改善が必要である			
合計		16.0 / 20.0	100点換算	80 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	保存計画に基づいて今後も継続して実施していく。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	40,500	41,450	950	40,500	40,500
国庫支出金	20,000	20,000		20,000	20,000
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	20,500	21,450	950	20,500	20,500

予算要求の概要	伝建地区内の建物の修理、修景事業に対する補助金及び工事設計監理委託 伝建地区等住民対応の相談窓口、啓発用パンフ、講習会の開催の費用
---------	--

要求額増減理由	伝建地区相談講習会の経費の増
---------	----------------

事業実施の課題	伝建地区内における歴史的町並み保存活用のため、計画的な修繕、修景の実施をする必要がある。
---------	--

財務部査定 の考え方	・積算内容を精査し前年並み事業費とする
---------------	---------------------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94757	伝統的建造物群保存地区 防災対策事業		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354
予算	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費	分野	4	文化	
	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	
	目	7	文化財費	施策	1	文化財などの保存・継承	
実施計画事業 歴史的町並防災対策事業							
市長の約束 9 伝統文化を守り、次代へ継承します 国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明看板等の整備や、人と人とのつながりを大切にする語り部の育成に取り組みます							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民・観光客	受益者数	4,136,231 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	伝建地区を災害に強い町並とするために、伝建地区の土蔵の修理や防災設備の整備を継続して実施し、防火能力の向上をさせる。		
概要	事業の実施手法(手段)	伝建地区内の土蔵等修理事業に対する補助、防災設備の整備等。		
前回の評価からの改善・改革のポイント	伝建地区の土蔵は防火帯として重要であり、伝建地区を災害に強い町並とするために、修理を継続して実施していく。また、下二之町大新町伝建地区において昨年度より引き続き、初期消火用設備の設置等を進めていく。			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	伝建地区土蔵等修理事業実施件数	件	目標値	10	10	7	7
			実績値	14	13	7	-
算出根拠等			達成率(%)	140	130	100	-
②			目標値				
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	① 伝建地区防災向上件数	件	目標値	10	10	7	7
			実績値	14	13	7	-
算出根拠等			達成率(%)	140	130	100	-
②			目標値				
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)		40,000	47,000	40,000	30,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)		0	0	0		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		20,000	23,500	20,000	15,000	
	一般財源		19,000	19,001	20,000	15,000	
コスト指標	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 市民一人あたりコスト(事業費/H17人口)(A/B)		10	11	10	7	
	② 受益者 市民・観光客 (B)		4,136,231	4,136,231	4,136,231	4,136,231	
③ 自火報1件あたりコスト(自火報事業費/世帯数)		1,296,400	598,132	398,755	542,468		
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画に位置付けられており、事業の実施が目標達成に直結している。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	国選定の文化財である三町・下二之町大新町伝建地区の防災対策事業は地区住民のみならず、一般市民、観光客からのニーズも高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	整備を進め防災力を高めることは、市主要産業である観光に大きく寄与するため。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	防災計画に基づき、全地区に対して計画的に事業実施を進めている。補正予算を組み、増額で修理を実施した。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	防災計画に基づき、全地区に対して計画的に事業実施を進めている。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	課題は防災計画に基づいた継続的な事業実施が取り組んでいる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	対応機器の見直しなどにより、自動火災報知設備の1件あたりのコストを下げる取り組みを行った。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	対応機器の見直しなどにより、自動火災報知設備の2件あたりのコストを下げる取り組みを行った。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	防災計画に基づき、全地区に対して計画的に事業実施を進めている。補正予算を組み、増額で修理を実施した。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		17.0 / 20.0	100点換算 → 85 / 100

4 今後の方向性(Action1)

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価) 伝建地区防災計画に基づき、今後も継続して実施していく。特に伝建地区の土蔵は、防火対策として重要であり、伝建地区を災害に強い町並とするために、修理を実施していく必要がある。 グループ自動火災報知機の設置を推進する				

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価) (担当課評価に同じ)				

議会からの 提言等

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	40,000	40,000	0	40,000	40,000
国庫支出金	20,000	20,000	0	20,000	20,000
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	20,000	20,000	0	20,000	20,000

予算要求の概要	伝建地区内の土蔵等修理事業に対する補助金、防災設備の整備経費
要求額増減理由	
事業実施の課題	伝建地区の防災対策を向上させる防災設備の整備を行う必要がある。

財務部査定 の考え方	・要求どおり
---------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94758	歴史的町並再生事業		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354
種別							
予算	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費	分野	4	文化	
	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	
	目	7	文化財費	施策	1	文化財などの保存・継承	
実施計画事業	歴史的町並再生無電柱化事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民および観光客	受益者数	3,812,000 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	平成16年度に実施した「全国都市再生モデル調査」の報告をもとに、下二之町大新町伝建築の環境整備を実施し、景観の向上を目指します。		
概要	事業の実施手法(手段)	側溝修景、無電柱化を実施。		
前回の評価からの改善・改革のポイント	表参道の整備を完了し、大新町地内の越中街道沿いの整備に着手。			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
成果面	① 地区内の整備路線の距離	m	目標値	446	746	785	882
			実績値	446	591	688	-
	算出根拠等	達成率(%)	100	79	88	-	
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
成果指標	②		目標値				
			実績値				-
	算出根拠等	達成率(%)				-	
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
コスト面	① 地区内の路線延長に対する整備路線の割合	%	目標値	46	77	81	91
			実績値	46	61	71	-
	算出根拠等	達成率(%)	100	79	88	-	
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
コスト面	②		目標値				
			実績値				-
	算出根拠等	達成率(%)				-	
	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額		
歳出(千円)(A)	212,867	109,364	255,210	146,852			
受益者負担(使用料・負担金等)	2,386	402	910	1,500			
その他特定財源(国・県支出金・起債等)	65,450	47,195	115,010	62,376			
一般財源	145,031	61,768	139,290	82,976			
コスト指標	① 受益者1人あたりのコスト(A/B)	(A/B)	H21	51	28	65	38
			H22				
	受益者	当該年度人口+観光客数(B)	4,134,832	3,905,861	3,905,861	3,905,861	
	算出根拠等	事業費(円)÷当該年度人口+観光客数					

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	総合計画に位置付けられている。側溝修景整備や無電柱化を実施することで歴史的町並みの再生と景観向上をすすめます。
	C(0) 結びつかない			
	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある		
C(0) 少ない、減少している				
A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	B	すぐに効果が現れるものではないが、整備後は景観向上により、市の文化振興と観光に大きく寄与すると考えられる。	
C(0) わずかな受益者に限定される				
A(2) 十分に達成している(100%以上)	B(1) 概ね達成している(75%以上)			B
C(0) あまり順調でない(75%未満)				
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	B	
	C(0) 見直しが必要である			
	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		B
C(0) 対応していない				
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	A	
	C(0) 対応していない			
	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である		B
C(0) 改善が必要である				
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B	
	C(0) 改善が必要である			
	合計			12.0 / 20.0

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	全体計画に基づいて路線ごとに順次実施していく。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・整備を通じて、地域の魅力を向上させ、市民の伝統文化に対する意識向上や観光に付加価値を与える取り組みを行う必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	255,210	146,852	△ 108,358	129,500	129,500
国庫支出金	114,565	55,841	△ 58,724	47,411	47,411
県支出金					
起債					
その他	910	1,500	590	1,500	1,500
一般財源	139,735	89,511	△ 50,224	80,589	80,589

予算要求の概要	電線共同溝設置工事による路線の無電柱化側溝修景工事による道路修景整備
要求額増減理由	電線共同溝設置工事計画に基づく事業量の減
事業実施の課題	歴史的な町並みの景観の向上、保存活用を図るため、計画に基づき進める必要がある。

財務部査定の方針	・積算内容を精査
----------	----------

市長査定の方針	・財務部査定のとおり
---------	------------

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94759	歴史遺産等保存活用事業		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354
種別							
予算	会計	1	一般	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費	分野	4 文化		
	項	4	社会教育費	基本施策	1 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える		
	目	7	文化財費	施策	2 親しみ理解する機会の充実		
実施計画事業	歴史街道等活用事業						
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します 国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明看板等の整備や、人と人とのつながりを大切に語り部の育成に取り組みます					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	歴史街道の整備、周知を行い郷土の歴史や文化を次代に伝える。		
概要	事業の実施手法(手段)	1.歴史街道周辺の文化的景観地等保全計画策定 2.地元農村景観保存組織立ち上げ支援 3.歴史街道ルート復元整備 4.歴史街道およびその周辺に説明版設置 5.歴史街道沿いの休憩、拠点施設の活用及び整備 6.天然記念物の現状調査、保護対策		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	測量・整備箇所	箇所	目標値	2	5	4	5
			実績値	2	5	4	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
②	整備街道数	箇所	目標値	1	3	3	3
			実績値	1	3	3	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	整備街道	箇所	目標値	12	59	53	76
			実績値	12	59	53	76
算出根拠等			(A/B)				
コスト面	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	受益者	一般市民	目標値	96,231	93,212	93,312	93,212
			実績値	96,231	93,212	93,312	93,212
算出根拠等			(B)				

財源内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)	1,124	5,492	4,900	7,057
	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
一般財源	1,124	5,492	4,900	7,057	

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	総合計画の埋もれている貴重な文化財の調査・再発見につながる。またそれを元に歴史・文化を活用したまちづくりにもつなげることができる。
	C(0) 結びつかない			
	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある		
B(1) ある程度のニーズがある	C(0) 少ない、減少している			
C(0) 少ない、減少している				
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	B	イベントなどの開催により、市民に多く周知し、だれでも親しむことができるようにする。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ	C(0) わずかな受益者に限定される		
	C(0) わずかな受益者に限定される			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B(1) 概ね達成している (75%以上)	A	目標通りに整備等行われている。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	B	旧街道の整備により、多くの人が歩いて楽しめる者となっている。
	B(1) 概ね有効である	C(0) 見直しが必要である		
	C(0) 見直しが必要である			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	整備は行われてきているが、活用面がまだ比較的行われていないため、次年度等はぜひ行っていく必要がある。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	C(0) 対応していない		
	C(0) 対応していない			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	工事費などの縮減につとめている。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	C(0) 対応していない		
	C(0) 対応していない			
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である	B	適正なコストであると思われる。
	B(1) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である		
	C(0) 改善が必要である			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B	委託や工事等に概ね適正である。
	B(2) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である		
	C(0) 改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B	委託や工事等に概ね適正である。
合計		12.0 / 20.0	100点換算	60 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	今後計画的に街道整備を行い、周知活動も行っていく。				

総合評価 (二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	4,900	7,057	2,157	5,100	5,100
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	566	0	△ 566	200	200
一般財源	4,334	7,057	2,723	4,900	4,900

予算要求の概要	歴史街道の整備委託料 歴史的建造物や近代化遺産、天然記念物など重要な資源の保存対策調査委託料
---------	---

要求額増減理由	天然記念物植生確認等の委託費の増
---------	------------------

事業実施の課題	郷土の歴史や文化を次代に伝えるため、歴史街道の整備、周知を行う。天然記念物などを専門家による調査を行わないと、的確な保全をすることができない。
---------	---

財務部査定 の考え方	・積算内容を精査
---------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94760	高山祭屋台保存修理事業		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356
種別							
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費		分野	4	文化
	項	4	社会教育費		基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える
	目	7	文化財費		施策	1	文化財などの保存・継承
実施計画事業	屋台整備事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	屋台組、一般市民	受益者数	93,312 人
目的	江戸時代から続く日本有数の祭の一つとして数えられる高山祭の宝として、後世に残していく。		
概要	事業の実施手法(手段) 国、県、受益者負担により緊急に修理が必要なものから、順次修理を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント	毀損した屋台の修理について、祭への参加に極力支障のないよう、関係者との調整を図り、円滑な修理に努めた。		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
成果面	① 屋台及び屋台蔵の修理件数	件	目標値	3	3	3	3
			実績値	6	5	3	-
	算出根拠等	達成率(%)					
	200	167	100	-			
成果指標	②		目標値				
			実績値				-
	算出根拠等	達成率(%)					
コスト面	① 祭の回数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	-
	算出根拠等	達成率(%)					
	100	100	100	-			
コスト面	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	H21 決算額	402	404	429	429
			H22 決算額	402	404	429	429
	② 受益者 市民	(B)	H21 決算額	94,235	93,822	93,312	93,200
			H22 決算額	94,235	93,822	93,312	93,200
算出根拠等	達成率(%)						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	37,914	37,934	40,000	40,000
	歳出(千円)		(A)	37,914	37,934	40,000	40,000
	受益者負担(使用料・負担金等)			3,789	3,789	4,000	4,000
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			20,464	18,949	20,000	20,000
一般財源			13,661	15,196	16,000	16,000	
コスト面	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	H21 決算額	402	404	429	429
			H22 決算額	402	404	429	429
	② 受益者 市民	(B)	H21 決算額	94,235	93,822	93,312	93,200
			H22 決算額	94,235	93,822	93,312	93,200
算出根拠等	達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	市の総合計画に位置づけられており、祭の象徴ともいえる屋台を継承していく上でも、重要度は高い。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	祭の象徴ともいえる屋台整備を対象としているため、屋台組からの要望は強い。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	絢爛豪華な屋台により、市の観光に大きく寄与するものである。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	要望等に基づき、順次実施している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	屋台を後世に残すとともに、その修理技術も高山に残すことが出来る。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	規模に応じて、複数年度にまたがることもあるが、各種団体と調整して、実施している。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	歴史的な文化財であるため、品質の維持を行うことに取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	文化振興や観光に大きく寄与するものであり、概ね適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	全体計画に基づき実施しており、適正である。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計	17.0 / 20.0		100点換算	85 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善					拡大	縮小	廃止の検討	完了
	国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整をし、計画的に事業を実施する。								
総合評価 (二次評価)	維持・改善					拡大	縮小	廃止の検討	完了
	(担当課評価に同じ)								
議会からの 提言等									

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	40,000	40,000	0	40,000	40,000
国庫支出金	20,000	20,000	0	20,000	20,000
県支出金					
起債					
その他	4,000	4,000	0	4,000	4,000
一般財源	16,000	16,000	0	16,000	16,000

予算要求の概要	国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台及び屋台蔵の保存修理に関する設計委託料、工事請負費等
要求額増減理由	
事業実施の課題	23台ある国指定重要有形民俗文化財の高山祭屋台及び屋台蔵を保存するためには、計画的な修繕が必要。

財務部査定 の考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94783	市史編纂事業費		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356
種別							
予算	会計	1	一般	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費	分野	4	文化	
	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	
	目	7	文化財費	施策	1	文化財などの保存・継承	
実施計画事業	市史等編纂事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312人
目的	誰を(対象) 全市民 どのような状態にしたいのか(意図) 郷土の歴史を次代に伝える		
概要	事業の実施手法(手段)	高山市史編纂	
前回の評価からの改善・改革のポイント	これまでの編纂作業の成果報告		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
成果指標	① 刊行がなされた市史等の巻数	巻	目標値	6	6	1	0
			実績値	6	6	1	-
	算出根拠等	市民アンケート	達成率(%)	100	100	100	-
	②		目標値				
算出根拠等		実績値				-	
達成率(%)						-	
コスト指標	① 作製した冊数	%	目標値	600	600	300	0
			実績値	1,800	600	300	-
	算出根拠等	市民アンケート	達成率(%)	300	100	100	-
	②		目標値				
算出根拠等		実績値				-	
達成率(%)						-	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)		30,389	24,078	7,734	25,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源		30,389	24,078	7,734	25,000		
コスト指標	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	(A/B)		322	257	83	268	
	① 受益者	全市民 (B)	94,235	93,821	93,312	93,300	
	②						
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	B	蓄積した資料や知識を活用することにより、高山市の歴史文化の保存・継承に寄与することができる
	C(0) 結びつかない			
	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	B(1) 非常に多い、急増している	C(0) 少ない、減少している	B	市史が以前に発行されてから年数が経過しており、合併した地区のものも併せて新しい市史刊行への市民要望が高まっている。
	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B(1) 概ね達成している (75%以上)	A	目標通りに市史等が発行されている
	C(0) あまり順調でない (75%未満)			
	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	B(1) 概ね有効である	C(0) 見直しが必要である	B	発行された市史等は様々な所へ配布、購入されている
	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	C	今後、ホームページ等で公開するなど、発刊数を減らし、コストダウン考える必要がある
	C(0) 対応していない			
	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 概ね適正である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	C(0) 改善が必要である	C	今後、発刊したものをホームページ等で公開するなど、受益者の負担を考える必要がある
	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である	B	市史編纂の作業の工程や内容からは適正
	B(1) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である		
	C(0) 改善が必要である			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B	市史編纂の作業の工程や内容からは適正
	B(2) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である		
	C(0) 改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B	市史編纂の作業の工程や内容からは適正
B(2) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である			
C(0) 改善が必要である				
合計	8.0 / 20.0		100点換算	40 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	新たな高山市史の編纂を行う				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	平成22年度事業評価において、読みやすく判りやすい市史等となるよう努めるとともに、発刊した市史等についてはホームページで公開するなど、多くの人たちに見てもらえる手法を検討する必要があるとの指摘しており、引き続きこうした取組みを行う必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	7,734	24,735	17,001	16,754	8,334
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	400	400		75	75
一般財源	7,334	24,335	17,001	16,679	8,259

予算要求の概要	高山市史編纂に伴う資金や報償費、印刷製本等
要求額増減理由	高山市史の発刊に向けて調査・研究を行うための資金等の増
事業実施の課題	長期的な事業となるため、計画的な実施と効率的な事務の推進が必要

財務部査定の方針	・積算内容を精査
----------	----------

市長査定の方針	・市史編纂計画を再検討(見直し)すべきである ・前年並み事業費とする
---------	---------------------------------------

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94800	飛騨高山まちの博物館管理費	担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線
種別					2977
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9 教育費		分野	4 文化
	項	4 社会教育費		基本施策	1 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える
	目	8 文化施設費		施策	2 親しみ理解する機会の充実
実施計画事業	文化財保存施設等管理事業、文化財保存施設等維持補修・改修事業				
市長の約束					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民、観光客	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成をはかり、また、観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらうことでリピーターを増やす。		
概要	事業の実施手法(手段)	城下町高山を中心とした歴史文化について資料収集、調査研究、展示、教育普及などの活動をおこなう。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
① 開館日数	日	目標値			360	360
		実績値			360	-
	算出根拠等 臨時休館 5日		達成率(%)		100	-
	算出根拠等	達成率(%)				
②	日	目標値				
		実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)			
	算出根拠等	達成率(%)				
① 来館者数	人	目標値			30,000	30,000
		実績値			100,000	-
	算出根拠等 360日×200人		達成率(%)		333	-
	算出根拠等	達成率(%)				
②	人	目標値				
		実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)			
	算出根拠等	達成率(%)				
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				31,335	32,600
	受益者負担(使用料・負担金等)				400	400
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源				30,935	32,200
コスト指標	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)(A/B)				336	350
	② 受益者 市民(4月1日現在)(B)				93,312	93,200
	算出根拠等					

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	地域の大切な財産である文化遺産の保存・活用に寄与する重要な事業である。
	C(0) 結びつかない			
	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある		
C(0) 少ない、減少している				
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	B	来館される市民も多く、また、観光客の市内滞在時間増につながるため周辺への経済効果も期待できる。
	C(0) わずかな受益者に限定される			
	④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)		
C(0) あまり順調でない (75%未満)				
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性		A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	A
	C(0) 見直しが必要である			
	⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	
C(0) 対応していない				
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫		A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B
	C(0) 対応していない			
	⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である	
C(0) 改善が必要である				
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か		A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	A
	C(0) 改善が必要である			
	合計	14.0 / 16.0		

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	展示の見直し、教育普及活動の充実を図る。 多言語の解説を入れるなど入館者への工夫を図る。				
総合評価 (二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・入館者の動向などの分析・評価を行い、改善につなげていく必要がある。 ・まちめぐりの拠点としての機能を高める取組みについて検討する必要がある。				
議会からの 提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	31,335	48,795	17,460	31,384	31,384
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	400	400	0	190	190
一般財源	30,935	48,395	17,460	31,194	31,194

予算要求の概要	飛騨高山まちの博物館の管理運営費 施設維持修繕費、資料整理費、子供用解説作成費等
要求額増減理由	来館者対応のための資金増、子供や外国人にもわかりやすい展示のための展示見直しや解説作成経費の増
事業実施の課題	既存部分の修繕や、施設の長寿命化のためのメンテナンスが必要。 子供や外国人むけの解説が不足しているとの指摘を来館者から多く受けており、対応が必要。

財務部査定 の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94815	風土記の丘学習センター等管理費		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356
種別	会計	1	一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
予算	款	9	教育費	分野	4 文化		
	項	4	社会教育費	基本施策	1 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える		
	目	8	文化施設費	施策	2 親しみ理解する機会の充実		
実施計画事業	文化財保存施設等管理事業、文化財保存施設等維持補修・改修事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民、研究者	受益者数	93,212 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	郷土の歴史に対して興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、出土品等の整理・調査研究を行い、郷土の歴史を次代に伝える。		
概要	事業の実施手法(手段)	歴史民俗資料館の管理活用 市内遺跡の出土品の整理等		
前回の評価からの改善・改革のポイント	展示室の見直し			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
① 開館日数	日	目標値	249	250	248	250
		実績値	249	250	248	-
	算出根拠等	達成率(%)	100	100	100	-
② 自主事業数	日	目標値	3	6	6	6
		実績値	3	6	6	-
	算出根拠等	達成率(%)	100	100	100	-
① 入館者数	人	目標値	7,200	7,200	7,200	7,200
		実績値	8,709	8,469	8,500	-
	算出根拠等	600人*12ヶ月	達成率(%)	121	118	118
②	日	目標値				
		実績値				-
	算出根拠等	達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)		4,010	3,708	4,206	4,400
	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
コスト指標	一般財源		4,010	3,708	4,206	4,400
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)(A/B)		43	40	45	47
	② 受益者 市民 (B)		94,235	93,822	93,312	93,200
算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	総合計画に位置づけられていること、また地域の歴史を知る上で重要な施設である。
	C(0) 結びつかない			
	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある		
C(0) 少ない、減少している				
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	B	体験講座等実施しており、多くの方から好評を得ている。
	C(0) わずかな受益者に限定される			
	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
C(0) あまり順調でない (75%未満)				
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	B	わかりにくい場所にあるが、自主事業等で周知を行い、概ね有効である。
	C(0) 見直しが必要である			
	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
C(0) 対応していない				
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	チラシ等手作りの対応をしたり、コスト削減に努めている。
	C(0) 対応していない			
	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である		
C(0) 改善が必要である				
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B	成果に対して概ね適正なコストである。
	C(0) 改善が必要である			
	合計			

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> 完了
	事業の充実、展示の見直し等を行い、歴史遺産の活用を図る。 出土品の適正な整理保存を行う				

総合評価 (二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	4,206	13,032	8,826	8,606	8,606
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	4,206	13,032	8,826	8,606	8,606

予算要求の概要	風土記の丘学習センターの管理委託料や役員費等
要求額増減理由	子ども向け講座開催時の経費の増
事業実施の課題	考古資料の適正な保存と活用を図る必要がある。

財務部査定 の考え方	・積算内容を精査 ・施設改修、移転に伴う経費の増
---------------	-----------------------------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94840	文化施設管理費		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356
種別							
予算	会計	1	一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費	分野	4 文化		
	項	4	社会教育費	基本施策	1 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える		
	目	8	文化施設費	施策	2 親しみ理解する機会の充実		
実施計画事業	文化財保存施設等管理事業、文化財保存施設等維持補修・改修事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	市民	受益者数	93,312 人
目的	郷土の歴史に対して興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、郷土の歴史を次代に伝える。 収蔵庫による、文化財資源等の適正な管理		
概要	事業の実施手法(手段) 指定文化施設の管理活用		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
① 開館日数	日	目標値	287	288	286	280
		実績値	287	288	286	-
		算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
②		目標値				
		実績値				-
		算出根拠等	達成率(%)			
① 入館者数	%	目標値	100,000	100,000	100,000	100,000
		実績値	113,267	105,080	110,000	-
		算出根拠等	達成率(%)	113	105	110
②		目標値				
		実績値				-
		算出根拠等	達成率(%)			
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)		41,005	42,807	45,053	47,000
	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		41,005	42,807	45,053	47,000
コスト指標	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者一件当たり(円)(A/B)		435	456	483	504
	② 受益者 市民 (B)		94,235	93,822	93,312	93,200
	算出根拠等					

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	地域の大切な財産である文化遺産の保存、活用に寄与する重要な事業である。
	C(0) 結びつかない			
	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある		
C(0) 少ない、減少している				
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	B	来館される市民も多く、また、観光客の市内滞在時間増につながるため周辺への経済効果も期待できる。
	C(0) わずかな受益者に限定される			
	④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)		
C(0) あまり順調でない (75%未満)				
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性		A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	B
	C(0) 見直しが必要である			
	⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	
C(0) 対応していない				
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫		A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B
	C(0) 対応していない			
	⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である	
C(0) 改善が必要である				
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か		A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B
	C(0) 改善が必要である			
	合計	12.0 / 20.0	100点換算	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	事業の充実、展示の見直し等文化施設の活用の充実を図る。				
総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	45,053	53,076	8,023	45,720	45,720
国庫支出金	120	0	△120		
県支出金					
起債					
その他	194	194	0	194	194
一般財源	44,739	52,882	8,143	45,526	45,526

予算要求の概要	高山陣屋前広場ほか、事業化されていない文化財課所管の各施設にかかる施設修繕料や設備点検委託料など、維持管理経費
要求額増減理由	修繕費の増
事業実施の課題	各施設の適切な管理を図る必要がある。

財務部査定 の考え方	・積算内容を精査し前年並み事業費とする
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94845	飛騨高山まちの博物館 特別展開催事業費		担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977
種別							
予算	会計	1	一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費	分野	4 文化		
	項	4	社会教育費	基本施策	1 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える		
	目	8	文化施設費	施策	2 親しみ理解する機会の充実		
実施計画事業	歴史文化理解推進事業・郷土先人等顕彰事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	一般市民、観光客	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図) 市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成をはかり、また、高山の歴史を感じてもらう。		
概要	事業の実施手法(手段) 城下町高山を中心とした歴史文化について、一つのテーマについて深く掘り下げた展示及び講演会などの関連行事をおこなう。		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
① 特別展開催回数(展示替え含む)	回	目標値			4	4	
		実績値			4	-	
	算出根拠等 6、9、12、3月		達成率(%)			100	-
	算出根拠等		達成率(%)			-	-
②	回	目標値					
		実績値				-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	-
	算出根拠等		達成率(%)			-	-
① 会期中入館者数	人	目標値			48,000	48,000	
		実績値			70,000	-	
	算出根拠等 240日×200人		達成率(%)			146	-
	算出根拠等		達成率(%)			-	-
②	人	目標値					
		実績値				-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	-
	算出根拠等		達成率(%)			-	-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円) (A)				2,150	2,200	
	受益者負担(使用料・負担金等)				490		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源				1,660	2,200	
コスト指標	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円) (A/B)				23	24	
	② 受益者 市民(4月1日現在) (B)				93,312	93,312	
	算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	特別展は郷土の歴史・文化を深く理解する機会であり、地域に埋もれている貴重な文化遺産や歴史ある地域資源の再発見に寄与する重要な事業である。
	C(0) 結びつかない			
	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある		
C(0) 少ない、減少している				
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	B	小学生等を対象に関連イベントを実施することにより、幅広い年齢層の方が来館している。
C(0) わずかな受益者に限定される				
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)			
	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	A	常設展より掘り下げた内容の特別展を開催することにより、郷土に対する深い理解につながる。
C(0) 見直しが必要である				
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない			
	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	展示品の保存と節電のため、スポットライトにはLEDを用いているほか、室温をこまめにチェックし、空調を調整している。
C(0) 対応していない				
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である			
	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	A	投入コストに見合った成果が上がっている。
C(0) 改善が必要である				
合計	13.0 / 16.0			

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	他団体の協力も仰ぎ、特別展を充実させる。 購入資料等の収蔵品展を行い、市民に対して公開する。				

総合評価 (二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	2,150	5,319	3,169	2,150	2,150
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	490		△ 490	2,150	2,150
一般財源	1,660	5,319	3,659	0	0

予算要求の概要	特別展のための資料調査費、展示資料借用謝礼、展示解説等の作成、関連イベント関係経費、展示用備品購入費
要求額増減理由	展示開催経費の増
事業実施の課題	子供や外国人にもわかりやすい展示とするため、従来の展示方法に加えて解説や関連イベントを工夫する必要がある。

財務部査定 の考え方	・積算内容を精査し前年並み事業費とする
---------------	---------------------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------